JSP

防蟻性断熱材

安心のノンケミカル

ミラポリカ®フォーム

シロアリに侵食されない断熱材登場！

外張断熱工法や土間床暖房の基礎外断熱に最適です。

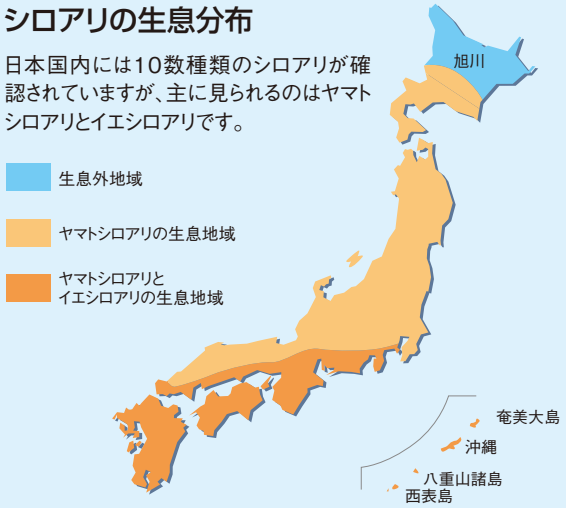
ミラポリカ®フォーム

薬剤なしでシロアリに侵食されない唯一の発泡プラスチック断熱材です。

▶ 防蟻性に優れています	高い硬度と粘弾性により、シロアリの食害を防ぎます。
▶ 高い安全性	薬剤を一切使用しないノンケミカル製ですから、人体、環境にやさしい製品です。
▶ 長期安定性	ノンケミカルなので長期に渡り安定した防蟻性能が維持されます。
▶ 施工性に優れています	木材と同じようにノコギリでの切断ができ、またクギ・ビス・タッカー止めも可能です。
▶ 耐衝撃性が高い	衝撃・座屈に強く、モルタルとの接着も良好で表面仕上げも簡単です。
▶ 耐熱性に優れています	ポリスチレンフォームに比べ高い耐熱性（120℃）を有しています。
▶ 自己消火性を有しています	万が一の着火に対しても安全です。

シロアリの生息分布

日本国内には10数種類のシロアリが確認されていますが、主に見られるのはヤマトシロアリとイエシロアリです。



温暖化の影響によりシロアリの分布は北上してます。

仕様・物性・VOC

●製品仕様

標準品寸法	30mm厚 40mm厚 50mm厚	300幅×1,820mm 350幅×1,820mm

●物性

測定項目	試験方法	単　位	測定値
質量減少率※	JWPS-TW-S.1	%	1.5～2.0
熱伝導率	JIS A 9511	W/m·K	0.040以下
10%圧縮強度	JIS A 9511	N/cm^2	50以上
曲げ強度（MD）	JIS A 9511	N/cm^2	100以上
熱変形温度	JSP法	℃	120
吸水率	JIS A 9511 アルコール法	g/100cm^2	0.05以下
透湿係数	JIS A 9511	ng/m^2·s·Pa (g/m^{2}hmmHg)	20以下 (0.01以下)
ホルムアルデヒド	JIS A 1460	mg/L	放散なし

上記データは測定値であり、保証値ではありません。
※京都大学 生存圏研究所（3%以下 規定値）
他 建材試験センター

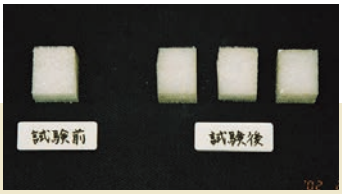
防蟻性試験（於　京都大学・生存圏研究所）

1.強制侵食試験（防蟻性能基準値:3%以下）

方法: イエシロアリの兵蟻15頭、職蟻150頭とサンプルを容器に入れ、4週間後のサンプルへの食害率（質量減少率）及び死虫率を測定

●試験結果　期間: 4週間後

試験体: XPS（3種b）　食害率: 38%
試験体: 防蟻剤添加EPS　食害率: 32%
試験体: ミラポリカフォーム　食害率: 1.6%



ミラポリカフォーム

2.蟻槽試験

方法: イエシロアリの飼育槽（蟻槽）の中に試験体を餌（赤松）でサンドイッチ構成にして試験体の貫通食害状況を観察

●試験結果　期間: 2ヵ月後

試験体: ミラポリカフォーム　フォームへの食害なし

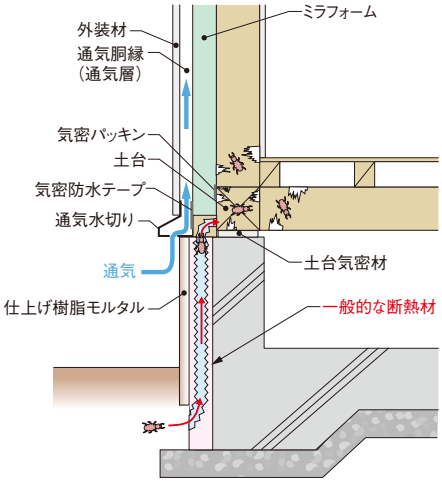
表面　　断面

●試験体セット

ミラポリカフォームを採用すると、シロアリの早期発見につながります!

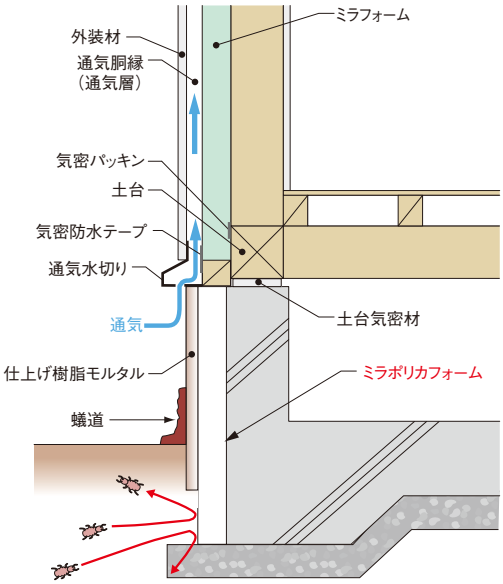
一般的な断熱材を使用した場合…

シロアリは、日光を嫌い、一般的には基礎の表面に蟻道（土のトンネル）を作ります。一般的な断熱材を使用した基礎断熱の場合には、断熱材の中を蟻道（トンネル）として利用します。（断熱材をエサとしているわけではありません）
そのため、シロアリの侵入の発見が遅れ、住宅（木造部分）に大きな被害が発生します。



ミラポリカフォームを使用した場合…

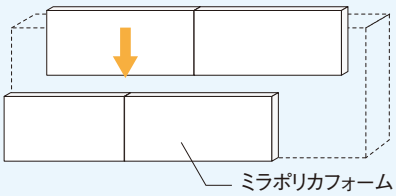
ミラポリカフォームの防蟻性により、シロアリは断熱材の中に蟻道（トンネル）を造れません。
そのため、シロアリは基礎表面に蟻道（土のトンネル）を造ることになり、シロアリ侵入の早期発見が可能です。



施工のポイント　●コンクリート打設同時打込み工法です。

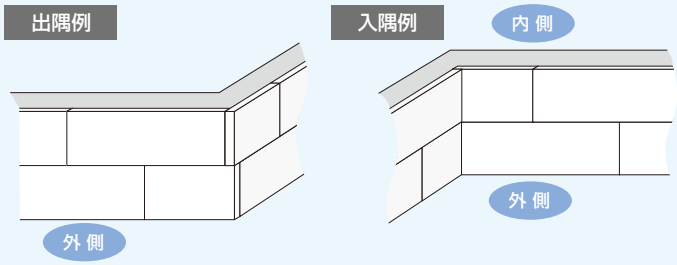
(1)一般部

施工上、目地に開きがあった場合、シロアリが隙間を上がってくる場合がありますので、目地をずらすため、**千鳥施工**を行ってください。



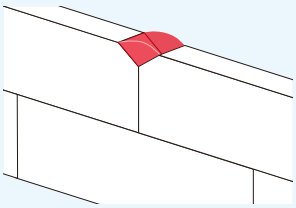
(2)出隅・入隅部

出隅・入隅部も小口目地をずらして施工してください。



(3)目地補強材

目地のすき間が空いた場合は、天端補強を推奨します。



〈推奨副資材〉

商品名	メーカー	TEL
ハイプレン防蟻フォーム（一液型発泡硬質ウレタンフォーム）	三井化学産資（株）	03-3837-5825

■防蟻性能

供試材料	質量減少率（%）
防蟻フォーム（防蟻剤添加）	0.4
ウレタンフォーム（防蟻剤無添加）	43.6

試験方法：（社）日本木材保存協会規格第11号4-3総合試験に準拠し、試験を行った。なお、質量減少率3%以下を防蟻効果有りと判定される。
試験機関：大日本木材防腐株式会社研究開発部。

(4)仕上げ

仕上げは樹脂モルタルと耐アルカリ性ガラス繊維を使用するのが一般的ですが、環境条件や建物諸条件により施工方法が異なる場合もありますので、仕上げ材メーカーに必ずご相談の上ご使用願います。

〈推奨副資材〉

商品名	メーカー	TEL
ハウスシューズ	（株）竹屋化学研究所	06-6781-1323

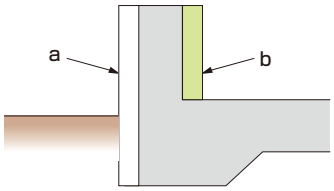
ミラポリカフォーム防蟻性能の保証について

ミラポリカフォーム保証契約（10年間）を結ぶことができます。
詳細については、お問い合わせください。

社団法人日本木材保存協会認定
非保存剤処理非木質系製品
認定番号 E-1001

平成28年 省エネルギー基準 設計・施工指針（附則）対応厚さ（mm）

地域	必要な熱抵抗値	必要厚さ	
		a.ミラポリカフォーム	b.ミラフォーム
1・2・3	3.5m²・K/W	50mm	MKS 65mm or ラムダ 50mm
		40mm	MKS 75mm or ラムダ 55mm
4・5・6・7	1.7m²・K/W	50mm	M1F 20mm
		40mm	MKS 20mm
		30mm	MKS 30mm



取扱注意事項

1.火気注意（溶接厳重注意）	ミラポリカフォームは火気に接触すると燃えます。燃えると黒煙を発生します。従って、輸送、保管、施工等に際しては火気に十分注意するとともに、適切に養生してください。特に、溶接火花が当たらないように必ず養生してください。
2.紫外線注意	直射日光に長時間曝すと表面に変色が発生し、劣化の恐れもありますので、保管に当たっては養生シートで覆い、施工後は速やかに仕上げを行ってください。
3.有機溶剤注意	アルコール以外の有機溶剤、石油類には侵されます。接着剤、塗料等の選択及び木造住宅での防腐・防蟻薬剤の選定及び使用方法については事前にメーカーにお問い合わせください。
4.強風注意	強風下での作業は注意してください。また、保管に当たっては飛散防止処置をしてください。

以上の注意事項に関しては、一般的取り扱いを対象としたものです。詳細についてはお問い合わせください。

株式会社 JSP 建築土木資材事業部 ホームページ www.co-jsp.co.jp

東日本建材営業部
札幌営業所 〒060-0003 札幌市中央区北3条西1-1（サンメモリアビル） TEL 011-231-2681（代） FAX 011-231-7850
仙台営業所 〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-4-1（青葉通パークビルディング） TEL 022-262-3271（代） FAX 022-266-9583
東日本住宅グループ 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-2（新日石ビル） TEL 03-6212-6363 FAX 03-6212-6369
西日本建材営業部
名古屋営業所 〒460-0003 名古屋市中区錦3-4-6（桜通大津第一生命ビル） TEL 052-962-3225（代） FAX 052-962-3252
大阪営業所 〒541-0053 大阪市中央区本町1-6-16（いちご堺筋本町ビル） TEL 06-6264-7903 FAX 06-6264-7913
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-12-17（Totsu Biz Hakata Frontビル） TEL 092-411-6863 FAX 092-474-2706
工場 北海道工場、鹿沼工場、関西工場、九州工場

お問い合わせ

2026.11.0000